



2021年11月10日

国際ガラス年日本実行委員会 実行委員長
京都大学教授 田部勢津久

国際ガラス年2022の活動に対するご協賛のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は国際ガラス年日本実行委員会の活動にご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国際ガラス年日本実行委員会では、来年12月の国際閉会式や、1月のオンライン開会セレモニー・講演会など様々な企画を立案しております。イベント以外にも、「ガラスの無い世界とある世界」を描くイラストと動画のコンテストや、学会誌等での記念特集号の企画・出版、ガラスと地域を繋げる「街ガラス」の取り組みなど、様々な活動を進めているところです。詳細は、当実行委員会ホームページ内イベント情報をご覧ください（https://iyog2022.jp/?page_id=165）。国際ガラス年で予定されるイベントや企画は、ガラス科学と造形を繋げるだけでなく、次世代を担う若者とガラスを繋げるという意味で未来への布石と考えます。新しいガラスと共に暮らす未来のために、どうぞご協力をお願い申し上げます。

これらの活動のために、ご協賛を賜りたくお願い申し上げます。協賛金といたしまして、別添えPDFに示す5種類のクラスを設けさせていただきました。コロナ禍の大変厳しい景気情勢の折、心苦しい限りではありますが、国際ガラス年という記念すべき年を将来に繋がる実りある年にしたいと思い、実行委員会一丸となって尽力する所存です。何卒ご高配を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具